

教員名	永田 瞬	所属学科	経営学科
<p><b>【ゼミでは何を学ぶのか】</b></p> <p>雇用や労働問題を中心に学びます。また地域経済との結びつきを重視し、工場見学や聞き取り調査も行います。働くことを通して、社会科学的な手法を身につけることを目標とします。</p>			
<p><b>【どのように学ぶのか】</b></p> <p>(1) 2年生のときは、グループで共同論文を執筆します。共通にテーマを決め、文献を整理し、テーマにもとづき論文にしていきます。ゼミでは中間報告を行ない、最終的に他大学との発表会等に臨みます。論文を書くだけではなく、議論する力を身につけます。</p> <p>(2) 3年生のときは、インナー大会、インター大会など関東地区や全国規模の論文発表大会に参加します。グループで論文を作るというのは2年生のときと同じですが、他大学との共通のテーマを決めたり、論点をすり合わせしたりすることが違います。</p> <p>(3) 4年生のときは、卒業論文の構想を発表し、まとめます。卒業論文は、大学4年間の集大成です。卒業論文は下級生もいる場所で発表会を行ないます。</p> <p>ゼミの活動報告集を作ったり、学外から雇用問題や地域経済に関する専門家を招いたりして、労働法の知識に関する勉強会をすることもあります。狭い意味での経済学・経営学にとらわれず、幅広い視野を身につけるための準備をします。</p>			
<p><b>【学んだことはどのように生かせるのか】</b></p> <p>グループで活動をしたり、事前に文献を読んだりすることは、論理的思考の訓練になります。発表を通じて、批判的に物事を捉えることができ、進んで学習する態度を身につけることができます。性格にもよりますが、意識をしてゼミに参加することで、驚くほど発言力が身につくこと、結果として自分の希望する進路にむすびつくこともあります。しかし、それらはあくまで結果論です。</p>			
<p><b>【おすすめの入門書・基本テキスト】</b></p> <p>湯浅誠『ヒーローを待っていても世界は変わらない』朝日新聞出版、2012年。</p> <p>少し背伸びをしてみて、民主主義とは何か考えてみることも必要です。誰かに任せられるのではなく、あなたがこの世界の主人公であることを気づかせてくれるはずです。</p>			
<p><b>【まだ見ぬ君へのメッセージ】</b></p> <p>大学は、まだ答えのない問題に向き合うエキサイティングな場所です。学問の入口に立って、知性を磨きましょう。暗記の勉強とは違う、学びの面白さを見つけてください。</p>			